

令和6年度 事業報告書

虹のそらこども園

1. 教育・保育目標

令和6年度は、「子どもたちが生き生きと遊び育つためには、みんなで環境を見直してみよう。」を年間のテーマとして取り組んだ。

環境は、日々の保育や園生活において常に取り組んでいる内容であるが、昨今、新聞やニュース等で不適切保育が問題視されたり、給食時に誤嚥させてしまい、意識不明の状態に陥ってしまう痛ましい事故が身近で起きてしまったりと、保育の中でも様々なことがあった。そこで、自園でもヒヤリハットを踏まえたうえで、職員間で話し合い、はたしてどこまで環境を整えることができるのかを追求しながら、物的、人的環境を見直した。

その結果、クラスの担任が、室内の環境に対して子どもの動線を見直し、遊びが充実できるように考えたり、ホールや園庭を使って、思い切り遊べる環境づくりに取り組んだり、日々の保育に対して職員の意識が高まった。

人的環境については、人手不足が影響し、園児に対して十分な配置をすることが難しかったことが反省として挙げられるが、それでも職員間で連携をとりながら、工夫して、子どもたちに目配り、気配りができたことで、子どもたちが楽しく遊び、時にはけんかもしながら成長する姿を見守ることができた。

また、サブテーマとして、「園の情報を地域に発信し、共生社会を目指す」を掲げていたが、コロナも5類感染症に移行したこと、地域の方々や高齢者施設、関連の保育施設等と交流の機会をもち、コロナ前の生活に戻すことができている。

※ヒヤリハット別紙資料参考

2. 入園状況

定員延人数	年間延人数	年令別状況					
2・3号 720 1号 72	902 (内 1号 26)	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳
		76	142	145	180 (内1号13)	179 (内1号12)	180 (内1号26)

項 目	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0 歳児	9	3	4	4	5	6	6	6	6	8	9	9	10	76
1 歳児	10	11	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	142
2 歳児	11	12	12	12	12	12	12	12	12	13	12	12	12	145
3 歳児	10	13	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	167
4 歳児	10	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	13	167
5 歳児	10	14	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	179
3歳児 (1号)	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13
4歳児 (1号)	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
5歳児 (1号)	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合 計	66	71	72	73	74	75	75	75	75	78	78	78	78	902
稼働率 (%)	100.0	107.6	109.1	110.6	112.1	113.6	113.6	113.6	113.6	118.2	118.2	118.2	118.2	113.9

※年間平均稼働率

3. 各特別保育事業

(1) 延長保育事業

令和6年度は、年間目標の人数を1,380名としていたが、両親の休暇の取り方や、時短での働き方もあるのか、若干名目標を下回る結果となった。

●延長保育利用実績

月	目標定員	開所日数(日) < >内は、利用日数	実利用人数(人) ()内は、短時間保育児	延べ利用人数(人) ()内は、短時間保育児
4月	110	25 <21>	12 (1)	97 (1)
5月	110	24 <21>	16 (4)	110 (8)
6月	110	25 <20>	21 (2)	119 (2)
7月	110	26 <22>	17 (2)	126 (3)
8月	110	26 <21>	19 (1)	120 (1)
9月	110	23 <19>	15 (0)	104 (0)
10月	120	26 <22>	20 (1)	110 (4)
11月	120	24 <20>	19 (0)	97 (0)
12月	120	24 <20>	17 (3)	112 (7)
1月	120	23 <19>	19 (1)	94 (1)
2月	120	22 <19>	27 (1)	116 (1)
3月	120	25 <21>	21 (2)	124 (3)
合 計	1,380	293 <245>	223 (18)	1,329 (31)

標準時間 (18:00~19:00)		短時間 (7:00~8:30) (16:30~18:00)		短時間 (18:00~19:00)	
階 層	保育料 (円)	階 層	保育料 (円)	階 層	保育料 (円)
月 額	2,600	全階層	30分ごと 100	月 額	2,600
日 割	260			日 割	260
B階層月額	1,300			B階層月額	1,300
B階層日割	130			B階層日割	130
A階層月額	0			A階層月額	0
A階層日割	0			A階層日割	0

（２）一時保育事業

保護者の勤務や病気、育児疲れの解消など、様々な理由で一時的に保育できなくなった時に保育所で子どもを預かる制度である。

令和６年度は、昨年度に比べると、約４００名減少となった。

これは、０歳児の利用が多く、人手不足から職員の配置が難しく、やむを得ず人数の制限をせざるを得なかったことが減少に繋がった。

●一時保育（一般型）利用

実績

定員：１カ月 175 名

内 訳	４ 月		５ 月		６ 月	
一時預かり	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
	21	136	20	157	21	146
	７ 月		８ 月		９ 月	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
	21	150	20	124	18	119
	10 月		11 月		12 月	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
	18	134	24	146	20	129
	１ 月		２ 月		３ 月	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
	21	132	21	102	22	138
利用延べ人数合計	実人数（人）			延べ人数（人）		
	247			1,613		

●一時保育（はじめて保育 ママ・パパリフレッシュ事業）利用

令和５年９月より、新たに松山市のモデル事業として、公立２園、私立２園に依頼があり、自園が受けることとなった。

公民館や、児童館、スーパー等チラシを置かせていただいたり、松山市のホームページや自園のホームページでも発信したりして、少しずつ周知できるようにした。その結果、利用者は増えている。

実績

定員：１日 ３名

利用延べ人数合計	実人数（人）	延べ人数（人）
	70	143

●一時保育（幼稚園型）利用

幼保連携型認定こども園へ移行したことで、１号認定の園児に対して、一時的に、教育時間外に預かりを行う制度である。

昨年度に比べ、延べ人数は、約１８０名の減少となっている。

実績

利用延べ人数合計	実人数（人）	延べ人数（人）
	26	93

(3) 障がい児保育事業

- 2歳児 1名、先天性心疾患の診断を受けている。
- 3歳児 2名、発達障がいのため療育に通っている。
- 4歳児 2名、5歳児検診を受け、その後療育と連携をとった。

4. 人 事

- ・令和7年3月31日付けで、正規職員が1名、臨時職員1名が退職となった。

5. 財 務

- ・今年度は、園児113.9%の平均稼働率となり、約787万円の黒字となった。昨年度より収支の改善をはかることができた。
収入を上げることができた分、人件費率も77%から75%となった。
しかし、これに甘んじることなく、常に収支を検証し、節約と共に収支の均衡を考えていきたい。

6. 施設管理

- ・2歳児クラス（うさぎ組）が雨風による影響で、室内に雨が入り込み修繕を行った。
- ・防犯カメラの故障により、新しく設置した。
- ・ホールのエアコンが故障となり、新しく設置した。
- ・老朽化に伴い、門の施錠が故障し、2回修理を行っている。
- ・会計ソフトの更新を行った。

7. 保護者と近隣との問題

保護者からの大きな苦情や問題点はなく、一年を終えることができた。
地域の行事については、公民館活動や移動図書等、積極的に参加することができた。
いろいろなことに参加させていただくことで、地域の方々は、こども園に対して協力してくださることが増えてきている。
朝の石井北小学校の通学路見守りについては、創業依頼途絶えることなく、地域交流に対する理念を具現化している。
そして、地域の方々とはお互いの協力体制を整え、子どもとお年寄りとの共生活動に繋がっていくことができた。また、災害時等も助け合える関係づくりを構築している。

8. 異世代交流事業

- ①石井北小学校・・・町探険学習（2年生）
- ②南中学校・椿中学校・・・職場体験（2年生）
- ③なないろの会・・・ライフサポート友伍 シニアハイツ友伍 グループホームだんだん
地域ボランティアの方々 等 月1回程度実施
- ④ゆうりん苑交流会・・・警察まどな音楽隊演奏会に参加。
また、七夕飾りや、門松づくりなど交流を行う。
- ⑤にじいろ広場・・・地域の子育て家庭に呼びかけ、園内・園庭開放を行ったり、子育ての悩みの相談を受けたりしながら交流を行う。
- ⑥公園清掃・マイロード清掃・・・シニアハイツ友伍の職員やゆうゆうの園児と虹のそらの園児で、月1回実施
- ⑦朝の通学路の見守り・・・職員が毎日実施

令和6年度 ヒヤリハット・事故報告

○発生日 令和6年5月8日(水) 時刻 10時50分 年齢1歳児 女児(一時保育利用)

- ・ 大型遊具で遊んでいるとき、上り棒から顔を出し、転落しそうになるが、見つけた保育士が声掛けし、そばにいた保育士がすぐに気づき抱きかかえた。けがはなし。

○発生日 令和6年8月19日(月) 時刻9時50分 年齢3歳児 男児

- ・ ままごとをしてあそんでいた矢先「鼻が痛い」と泣いて訴える。本人が「ままごとのおもちゃを鼻に入れた」と訴えたため、鼻を見ると何か入っていることが確認できたため、耳鼻科へ受診した。結果室内の柵のねじが入っていた。

○発生日 令和6年9月9日(月) 時刻16時15分 年齢4歳児 女児2名

- ・ 塗り絵をしている時にトラブルになり、持っていた色鉛筆を投げて、相手の目の横にあたって傷ができた。

○発生日 令和7年1月24日(金) 時刻16時10分 年齢4歳児 女児

- ・ 戸外で遊んでいる時に、大型遊具の前で「いたい」と座りこんでいたため、その場に向かうと、白目をむいて倒れこんだ。今までにも、家庭や園で数回発作が起きていた。15秒～20秒くらいで治まり、呼びかけると反応があったため、そのまま安静にし、母親に連絡する。病名は、迷走神経反射

○発生日 令和7年3月25日(火) 時刻17時00分 年齢4歳児 女児

- ・ 合同保育で、支援室へ移動の際、手すりを持たず、階段を下りていて、足がつまづき、中段から踊り場まで滑り落ちた。けがはなし。

3. 各特別保育事業

(1) 延長保育事業

保育標準時間は、7時～18時である。仕事が忙しい時期にのみ延長保育を利用していた。上半期は、利用人数が少なかったが、10月～3月は、仕事の関係から延長保育を利用する子どもが多かった。

令和6年度は年間延べ人数が137名であったが、令和5年度の112名と比較すると25名の増加となった。

●延長保育利用実績

	開所日数（人） ＜ ＞内は利用日数	実利用人数（人） ＜ ＞内は保育短時間の園児	延べ利用人数（人） ＜ ＞内は保育短時間の園児
4月	25<1>	1<0>	1<0>
5月	24<0>	0<0>	0<0>
6月	25<1>	1<1>	1<16>
7月	26<4>	2<2>	4<2>
8月	26<6>	3<2>	6<3>
9月	23<6>	3<4>	6<6>
10月	26<11>	5<3>	13<9>
11月	24<13>	6<5>	15<13>
12月	24<16>	5<1>	25<3>
1月	23<14>	6<2>	25<6>
2月	22<14>	4<1>	20<5>
3月	25<15>	5<2>	21<3>
合計	293<101>	41<23>	137<66>

保育料（保育標準時間）	月額	2,600円
保育料（保育標準時間）	日額	260円
保育料（保育短時間）	30分	100円

(2) 一時預かり事業

令和6年度は、発達に遅れがあり療育機関を利用している子どもが2名いたので、特別支援児童加算があった。

また、令和6年度は年間利用延べ人数が1405人となり、令和5年度の利用延人数1395名と比較すると10名の増加となった。

●一時預かり利用実績

内訳	4月		5月		6月	
一時預かり 事業	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
	16	110	18	115	15	119
	7月		8月		9月	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
	15	122	16	108	15	120
	10月		11月		12月	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
	14	112	17	130	18	127
	1月		2月		3月	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
	18	126	17	101	18	115
利用延人数合計	実人数 197 (人)		延人数 1405 (人)			

(3) 障がい児保育事業

2歳児 2名 (聴覚障害1名・自閉スペクトラム症1名)

定期的に療育機関や病院に通う。連携を取り助言をいただきながら子どもと関わったり、保護者支援を行ったりした。

4. 人事

令和6年4月1日付で、常勤保育士2名・栄養士1名 採用

令和6年8月22日付で、常勤保育士1名 虹のそらこども園より異動 (産休明け)

令和6年8月31日付で、常勤保育士1名 退職

令和7年2月28日付で、常勤保育士1名 退職

令和7年3月1日付で、パート保育士1名 採用

5. 財務

令和6年度は、年間の一般保育入所稼働率が104.8%であった。少子化の影響もあり、年度当初は定員を満たすことができず、財務状況は厳しかったが、6月以降、園児数が増え、弾力化運用等を行っていくことができたので、徐々に安定していった。

6. 施設管理

- ・ 施設機能強化推進費では、備蓄の防災食の期限が切れる年であった為、買い替えを行った。その他、大人用防災ヘルメットなどの追加購入をした。
- ・ 保育用品では、電子ピアノを購入した。

7. 保護者と近隣との問題

- ・ 新入園児と進級児希望者の家庭訪問を行い、家庭での様子を聞いたり、園での様子を伝えたりした。
- ・ 登降園の際には、できるだけ担任が対応できるようにして、信頼関係を築いていった。また、日頃の子育てに関する不安などを聞きながら、状況を把握することに努め、必要に応じて個別的に相談できる機会を設けるようにした。
- ・ 重信川の氾濫を想定して、事前にドゥエル椿参道マンションに住人の方に連絡をし、上階に避難する訓練を行った。

8. 地域との交流

- ・ 子育て支援ネットワーク情報交換会に参加した。
- ・ 居相町内会と交流をする。花いっぱい運動に参加し、1・2歳児が椿公園で居相ふれあい農園で育てたマリーゴールドを植えるお手伝いをした。
- ・ 居相ふれあい農園と交流をする。冬野菜を収穫する計画を立てていたが、雨天の為中止となった。七草の日には、福笑いや、凧を作って凧揚げ、けん玉遊びなどの伝承遊びをした後、一緒に七草うどんを食べて楽しんだ。
- ・ 災害を想定して、地域の避難場所である石井公民館や南中学校と事前に打ち合わせをした後、避難訓練を行った。

ゆうりん苑 令和6年度事業報告

1. はじめに

通常の日常生活が戻りつつあった中、7月にコロナ集団感染が発生し、特養の1F、2Fに感染拡大した。新型コロナが5類となり感染対策の基準が緩和され、防護服やフェイスシールドなどの着用は施設判断となり、苑での感染対策マニュアルの見直しを行った。その後も常に感染対策に留意して入所者の健康管理に努めた。

10月には開苑7周年記念行事として、歌手の秋川雅史さんを招いて記念コンサートを開催した。ご利用者や入所者、ご家族はもちろん、地域住民、ボランティア、その他関係者の皆様をお招きして楽しんでいただき、地域交流を図ることができた。

開設7年目を迎え、久谷地区においてゆうりん苑の存在や役割を認知していただけるようになってきた。

2. 事業報告

(1) 高齢者総合福祉施設ゆうりん苑（地域密着型特別養護老人ホーム） 定員 29 名

（特養利用者数の状況）

※各月1日現在の数字

(人)	2024（令和6）年度												計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(平均)
入居者延べ人数	744	773	826	887	868	847	899	840	884	883	746	791	9,988
在籍者数	29	27	27	28	29	29	29	29	29	28	28	27	
入所者数	1		2	1								1	5
退所者数	3	1							1		1	3	9
死亡退所									1		1	2	4
その他	3	1										1	5
稼働率(%)	98%	86%	95%	99%	97%	97%	100%	97%	98%	98%	92%	88%	94.4%

（特養利用者の内訳）

(人)	2024（令和6）年度												計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
要介護2													0
要介護3	5	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	6	69
要介護4	15	14	15	16	15	16	16	16	15	15	15	15	183
要介護5	7	7	7	7	7	7	7	7	8	8	7	6	85
計	27	27	28	29	28	29	29	29	29	28	27	27	337

① 入居状況

- ・目標稼働率 97%に対して、2.6%下回る 94.4%の結果となった。
- ・開設時に入所された方が体調悪化、重度化などで7名退所され、看取りが2名であった。

いずれも年度末や年度始めに重なって退所され、その後の空床をすぐに埋めることが出来なかった。

- ・定期的に営業訪問をおこなっていたが、申込者はいたものの、要介護3未満や松山市以外の住民など、適正に入所できる方の確保が出来なかったことが要因である。
- ・また、7/18～9/24 コロナ感染により入院となった入所者もあり稼働率が安定しなかった。
- ・年度末には稼働率上昇に向け、地域住民や関係機関へ空室状況を案内し営業活動を積極的に展開した。

② 個別ケアの推進及びサービス満足度の向上

- ・4月～6月までは久しぶりのお花見ドライブの外出や、母の日、父の日イベント行い、気分転換を図る事ができた。

・7月コロナ感染（入所者9名・職員15名）のクラスターが発生し、7月末までの間は入所者の皆様には大きな不安とストレスのある生活の提供となってしまった。感染終結後に感染対策委員会にて、振り返りと今後の予防策を話し合い、5類でありながら、常に感染拡大のリスクを念頭に置き、小まめな日々の感染対策（換気、手洗い、消毒等）を徹底することとした。

・8月以降は、虹のそらこども園・認定こども園ゆうゆう園児との異世代交流や書道パフォーマンス、警察音楽隊、一大イベントである歌手の秋川雅史さんコンサートなど、外部から色々な方のイベントに参加され、入所者の笑顔が多くみられた。

③ ICTを活用した自立（律）支援の促進

- ・iPadを使用した記録に関しては、ほぼ全職員が慣れスムーズに入力できるようになり、業務の効率化、簡略化が可能となった。
- ・入所者の健康状態や申し送りなど、素早く情報共有できる体制が整備された。
- ・日常生活の記録だけでなく、アセスメントシートやアクシデント報告など様々な書類も作成できるよう有効活用し、ケアの質の向上に努めた。

④ 令和6年度からの義務化事項の遵守

- ・BCP（業務継続計画及び感染症対策）の作成完了し、緊急連絡網訓練や災害時の物品、非常食確認を行った。また、感染症まん延時の訓練を2回行った。
- ・身体拘束及び虐待防止に関するゆうりん苑の指針の見直しを行い、指針に沿った研修会を実施し、職員の意識統一を図った。
- ・看取り介護や褥瘡予防に関しては看護師を中心に研修会を通して職員の意識を高めるよ

う努めた。

- ・口腔ケアについても、入所者一人ひとりの口腔ケア管理計画を立て、定期的に協力歯科医院の歯科医や歯科助手による研修を行った。

(2) ショートステイゆうりん 定員 10 名

(ショートステイ利用者数の状況)

	2024（令和6）年度												計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
利用者数(人)	230	266	291	255	253	277	246	234	268	260	236	287	3,103
稼働率(%)	77%	84%	97%	82%	82%	88%	79%	76%	86%	84%	83%	93%	85.0%

(ショートステイ利用者数の内訳)

(人)	2024（令和6）年度												計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
要支援1								1	1	1		1	4
要支援2			1										1
要介護1	7	9	7	5	4	5	5	6	4	6	3	5	66
要介護2	2	4	4	3	2	2	2	3	3	3	3	3	34
要介護3	6	4	6	6	5	6	4	4	4	5	5	4	59
要介護4	1	2	3	3	2	2	2	3	3	3	4	4	32
要介護5	1			1	1	1		1	1	1	2	2	11
計	17	19	21	18	14	16	13	18	16	19	17	19	207

① 利用状況

- ・目標の稼働率85%を達成することができた。
- ・ゆうりん苑と他施設への特養入所待機者が緊急的に増加し、ロングショート利用者が6～7名となり安定運営に繋がった。
- ・定期利用者も、重度化や認知症の進行等により、グループホームや他施設へ入所される方が多く、常に新規利用者を確保し、その空床を埋めることを目標とした。
- ・年度末の3月から4月にかけてロング利用者が4名、特養へ入所予定であるため、稼働率40%減を予め見越し、各居宅や地域医療連携室等に新規利用や定期利用の案内訪問を小まめに行った。

② ご利用者満足のサービスの提供

- ・四季折々の年間行事（節分、お花見ドライブ、母の日、父の日イベント、さつき展鑑賞、敬老会など）を行い、利用者の社会との繋がりを感じていただき、気分転換となった。
- ・朝のリハビリ体操、脳トレプリント、苑外散歩など行い、日常生活動作の維持と在宅生活が少しで

も可能となるよう、リハビリを意識して支援した。

- ・洗濯干しや洗濯物をたたむなど、役割を持つことで生きがいを持って生活できるよう支援を行った。
- ・外部から虹のそらこども園・認定こども園ゆうゆうの異世代交流、ボランティアの楽器演奏など参加され、メリハリのある日常生活を過ごしていただくよう、行事を計画し参加していただいた。

(3) デイサービスゆうりん

(デイサービス利用者数の状況)

※1日23人定員

	2024（令和6）年度												計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
利用延べ人数(人)	446	419	387	436	453	442	443	441	437	400	372	414	5090
開所日数(日)	26	27	25	27	27	25	27	26	26	25	24	26	311
利用率(%)	75%	67%	67%	70%	73%	77%	71%	74%	73%	70%	67%	69%	71.2%

(デイサービス利用者数の内訳)

(人)	2024（令和6）年度												計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
要支援1	8	7	8	7	7	7	7	9	8	7	10	9	94
要支援2	11	11	11	12	12	12	12	12	11	10	11	13	138
要介護1	14	15	13	14	16	15	15	15	16	14	14	14	175
要介護2	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	49
要介護3	6	5	7	6	6	6	5	5	7	8	7	5	73
要介護4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	5
計	44	42	44	43	45	44	43	46	47	44	47	46	535

① 利用状況

- ・目標の稼働率70%を1.2%上回る71.2%の結果となった。
- ・一番の要因として、松山市地域包括センター石井地区からの依頼が多く、地元の知人、友人がいることから契約に繋がる件数が多かった。
- ・食事、リハビリ、レクリエーション、施設の雰囲気などが良いと契約に繋がり、現利用者がサービスに満足され、利用回数の追加希望、知人を紹介などにより新規利用者の増加となった。
- ・要支援者は単価は低いため、他事業所では利用制限をする所も多く、要支援者の受入れ依頼が大変多かった。ゆうりん苑では要支援2の利用者を積極的に受け入れ、次の更新や状態悪化のため区分変更を行った結果、要介護に上がり、利用率と売り上げ増につながった。

② ご利用者満足のサービスの提供

- ・食事について美味しいと好評で、月に1回の郷土料理の日は大変喜ばれた。

- ・個別機能訓練では、柔道整復師と看護師の2名体制で行い、中でも柔道整復師の施術では状態が良くなったと言われることも多かった。
- ・柔道整復師が公休の場合は加算は取らないが、整体師である施設長の専門的な技術サービスの提供により、利用者満足度に繋がった。
- ・職員や仲の良い利用者と一緒に散歩を行い、気分転換とともに歩行能力の維持に繋がった。
- ・ピアノ演奏や歌、踊りなど様々なイベントや園児との異世代交流などを通して、利用者の社会参加の活性化となった。
- ・ICTを活用した記録システムを活用し、利用者の状態を数値化し、解析、グラフ化することにより、ご家族、居宅介護支援事業所等との情報共有に役立っている。

(4) 人材の確保

① 外国人介護職の雇用の取組み

- ・2月中旬より日比介護国際共同組合を仲介とし、フィリピンから技能実習生2名の受け入れを開始した。受入れ前には、職員の外国人雇用オリエンテーションや勉強会を行い、指導方法の協議を行った。
- ・日本での生活をスタートするため、グループ各施設の支援もあり、住居や生活用品一式、電動機付き自転車など必需品を用意し、働く環境を整え、まずは日本の生活に慣れるよう支援した。
- ・担当職員を決め、実習計画に沿って最初は身振り手振りやスマートフォンを使用し日本語を理解しながら実践し、1ヶ月後には基本的介護を習得し、介護職員として人員配置が可能となった。

(5) 人材育成・研修等

(施設内研修)

日時	研修名	主催・講師	参加者
R6. 9. 3	コンプライアンス研修	介護労働安定センター 高岡 康子先生	19 名
R6. 9. 27	入所者の急変に対応する BLS	愛媛県看護協会 救急看護認定看護師 向井直基先生	16 名
R6. 10. 11	仕事の基本姿勢・ケアの在り方とユニットケアについて	株式会社どんぐり 森川 隆先生	14 名
R6. 11. 29	虐待防止・身体拘束適正化について	株式会社どんぐり 森川 隆先生	16 名
R6. 12. 9	リスクマネジメント研修	介護労働安定センター 高岡 康子先生	16 名

(施設外研修)

日時	研修名	主催／場所	参加者
R6. 5. 30	福祉・介護関係事業所合同入職式	愛媛県社会福祉協議会／愛媛県県民文化会館	岡田
R6. 9. 17	業務改善マネジメント講座	愛媛県社会福祉協議会／ジョーブラ 3F	和田
R6. 10. 15	季節性感染症の感染防止対策	愛媛県看護協会／愛媛県看護研修センター	西野
R6. 11. 23	介護現場のターミナルケア・看取りについて	松山市社会福祉協議会／オンライン研修	日野平
R6. 11. 26	利用者・介護者双方に安心・安全な介護を行うために	愛媛県社会福祉協議会／同左	小島
R6. 12. 18	介護職のための口腔ケア	愛媛県社会福祉協議会／オンライン	上田周
R6. 12. 19	根拠に基づく排泄介護	愛媛県社会福祉協議会／オンライン	鈴木
R7. 2. 4～2. 5	ユニットリーダー研修 講義	(社団) ユニットケア推進センター／オンライン	和田
R7. 3. 18～3. 21	ユニットリーダー実地研修	(社団) ユニットケア推進センター／広島県 IGL ナーシングホーム	和田

(訓練一覧)

日時	訓練名	講師	参加者
R6. 5. 27	感染症訓練 防護服着用について	主任 西野 雅世	10 名
R6. 8. 5	避難訓練	松山南消防署	30 名
R6. 9. 2	BCP 緊急連絡網訓練	事務長 阿部 佳世	43 名
R7. 3. 15	感染症訓練	主任 西野 雅世	12 名
R7. 3. 25	避難訓練・BCP 災害訓練（物品、非常食確認）	事務長 阿部 佳世	40 名

(施設実習受入れ一覧)

日時	学校名	人数
R6. 5. 13～5. 24	松山学院高等学校 福祉科 2 年生	2 名
R6. 8. 6～8. 9	松山学院高等学校 福祉科 2 年生	2 名
R6. 8. 19～8. 27	松山学院高等学校 福祉科 3 年生	2 名
R6. 9. 17～9. 25	松山学院高等学校 福祉科 2 年生	1 名
R6. 10. 15～10. 18	松山学院高等学校 福祉科 2 年生	1 名
R6. 10. 30～11. 13	松山学院高等学校 福祉科 2 年生	2 名

(6) 人事

- ・ 人員基準を満たすよう適正人数を配置した。
- ・ 4月に松山学院新卒者1名が入職し、新人教育係を決め、マニュアルを作成し段階的に業務に身に付けるよう支援した。6月には事業所の中心となる生活相談員1名が入職した。
- ・ 9月から正職が5名退職したが、補充として1名の採用、残り不足分を夜勤専従パートや常勤パート、外国人技能実習生など7名採用した。
- ・ 常勤職員の雇用までの一時的措置として、下半期から派遣職員を2～3名雇用した。

(職員の入退職者数)

(人)		2024 (令和6) 年度												計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
入職者数	正職	1	1	2							1			5
	パート			1				1	1		1	3	1	8
退職者数	正職			1			1	1		1		1	1	6
	パート			1		1		1		1	1		1	6

・ 職員の状況 () 内は非常勤の職員数

令和7年3月31日現在

施設長	事務長	事務員	生活相談員	介護支援専門員	看護職員	介護職員
1	1	1	3	1 (1)	2 (2)	12 (15)
派遣 介護職員	機能訓練 指導員	管理栄養士	嘱託医	宿直	運転手 業務員	合計
(3)	(1)	1	(1)	(2)	(1)	22 (26)

常勤 22人 非常勤 26人 合計 48人

(7) 地域交流と地域貢献

- ・ 毎年5月に2回、地域清掃に参加し、地域の方、障害者施設、介護施設の職員の方とも交流することが出来た。
- ・ ゆうりん苑開設7周年記念として、歌手の秋川雅史さん記念コンサートをゆうりん苑で開催し、施設利用者や地域住民の方々、ボランティア、関係事業所の皆様に喜んでいただけた。
- ・ 法人グループ内の保育園の園児との異世代交流は大変ご利用者に喜ばれており、また、多種多様なボランティアの方に来苑いただき、入所者が社会との繋がりを継続することができた。

(ボランティア一覧)

日時	ボランティア名	内容	人数
R6.6.14	浅井 真由美様	高齢者ネイル体験	15名
R6.7.4	虹のそらこども園	七夕飾り	18名
R6.8.29	虹のそらこども園	異世代交流・歌	18名

R6. 9. 12	粕谷 尚子様	敬老会 ピアノ演奏	1 名
R6. 11. 8	虹のそらこども園 認定こども園ゆうゆう	鼓笛隊	21 名
R6. 12. 3	愛媛県警察音楽隊 あいマドンナ	音楽隊（楽器演奏） 交通安全、特殊詐欺の被害防止の講話	8 名
R6. 12. 17	友近 890	書道パフォーマンス	1 名
R6. 12. 24	虹のそらこども園・大西様	門松づくり	20 名
R6. 12. 26	松山学院高等学校生	楽器演奏	11 名
R7. 1. 21	富永 美咲様	整体・マッサージ	1 名